

「町の おすすめ つたえたい」 (12時間扱い)

授業者 田畑 圭

1 教材の特徴

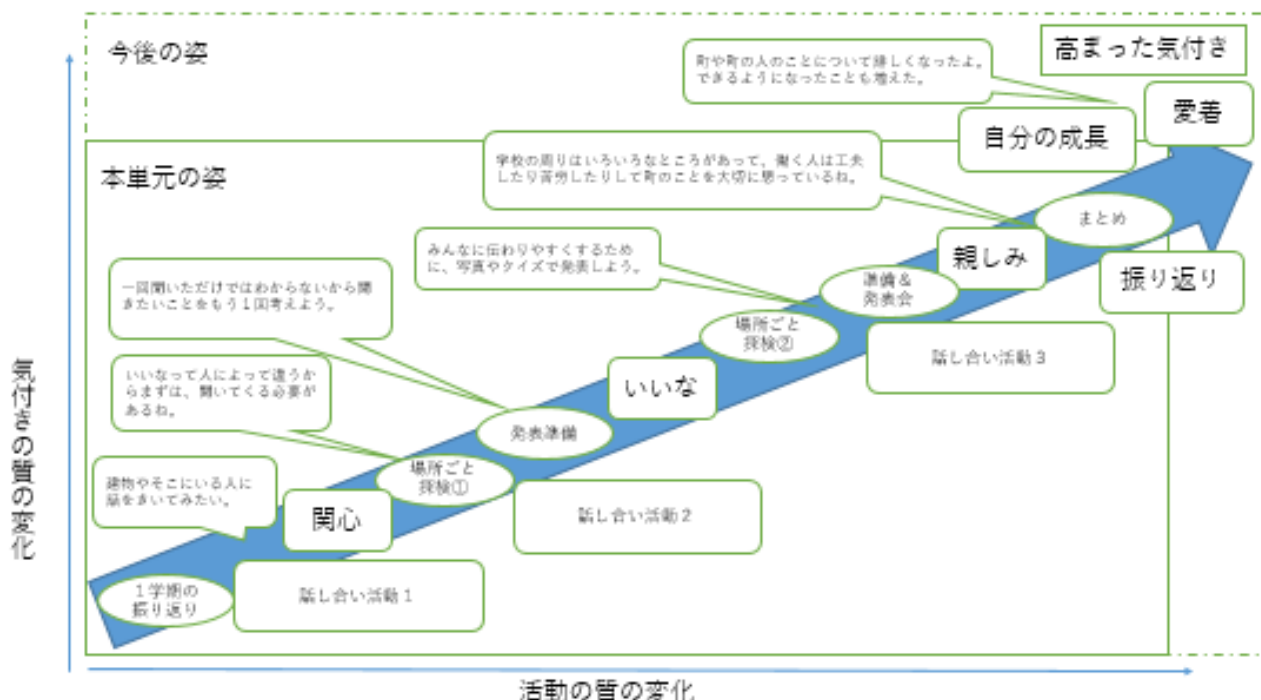
学習内容の系統性 本単元は、内容項目(3)の「地域と生活」の内容にあたります。本単元では、地域に出かけると、自分たちの真有には様々な場所があり、様々な人たちが生活し、そこには様々な仕事があり、その仕事に関わっている人がいることや自分たちの関わりを自覚すると、生活を支えていることや生活を楽しんでいることが分かります。地域の人と関わる体験を増やすと適切に接する大切さや接し方を身に付け、地域の場所や人に親しみや愛着をもち、安心して生活できる場があることを感じられるようにしていくことが求められています。

単元の目的 本単元では、自分たちが住む町を探検する活動を通して、町の自然、公共物などに興味をもつとともに、自分たちは、町で生活する人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみをもち安全に生活することができるようにすることを目的とします。今後は、自分たちが住む町を探検する活動を通して、町の人々、社会などに関心をもつとともに、町で生活したり働いたりしている人々の思いや願いが分かり、場所や人に愛着をもち、人々と適切に接することができるような姿を目指していきます。

先行文献による教材の意義 山本・加納(2016)は、小学校1,2年生の生活科で育む地域への愛着形成過程において、地域への肯定的な印象を形成する段階には、地域の人とのかかわりによるものと、地域に繰り返しかかわることによる影響があることを明らかにしています。また、山本・加納(2016)は、地域の人との関わりが、地域への愛着形成において影響を深く与えることや繰り返しかかわることによる経験の質的な高まりは地域への愛着形成にも深くかかわっていることを指摘しています。

田村(2017)は、「地域と生活」の領域においては、児童が地域と関わる活動を通して、見つけたことを、分類したり、比べたり、関連付けたりしながら、地域の様々な人々の仕事について、見つけなおすことや自分たちの生活は様々な人や場所と関わり、それが自分たちの生活を支え楽しくしていることが分かることにつながることや活動によって親しみや愛着やあこがれをもつことを指摘しています。

このことから、児童が地域に出て様々な場所を調べたり利用したり、様々な人と接したりすることを通して、地域やそこで生活したり働いたりしている人々について考える振り返りの充実を行います。自分たちの生活と関わっていることに気づき、地域への関心や親しみがもち、最終的には愛着にたどり着ける姿を目指していきたいです。



2 目指す子供の姿

	課題設定	課題追究	パフォーマンス
生活が目指す子供のゴールの姿	身近な生活を自分との関わりで捉え、よりよい生活にむけて思いや願いを表現しようとする。	具体的な活動や体験で得た気づきを友達と伝え合ったり、自分や友達の活動について振り返ったりしながら、対象との関わりを捉え直していこうとする。	追究の過程で得た気づきを今までの学習で身に付けてきた表現方法の中から適切と思われる方法を選択して表現する。また、追究の過程でよりよいものと考えたことを実践したり、活動の中での意欲や自信を表出したりしようとする。
生活が目指す9月時点の2年生の姿	身近な生活を自分との関わりで捉え、よりよい生活にむけて思いや願いをもとうとする。	具体的な活動や体験で得た気づきを友達と伝え合ったり、自分や友達の活動について振り返ったりしながら、対象との関わりを捉えようとする。	追究の過程で得た気づきを今までの学習を生かしながら身に付けてきた表現方法を選択する。また、活動の中での意欲や自信を表出したりしようとする。

本単元の目的

これまでの町探検で気付いたことや季節を通しての町や人々の様子、多くの人とのかかわりや交流について、まとめたり、身近な人たちと共有する活動を通して、自分たちの町の良さに気付いたり、町やそこに住む人々への関心をいっそう深める子供

本単元における「一人一人の子供が他者とともに自己調整する学び」

子供が学びをつくる

追究

・町探検で自分が気付いたことや疑問に思ったこと友達と対話したり、気づきを関連付け、課題解決にむけ、ワークシートに記入したりする。

課題設定

・1年生の時の学校探検や2年生での町探検の体験を通して、関連付けられた気づきをもとに、もっと知りたい、こうなりたい、関わりたい、という思いや願いを高める。

町の人と仲良くなりたい！

パフォーマンス

・町探検の体験や友達との対話を通して、絵や文で表したり、意欲や自信を表出したりしようとする。

自己調整

・子供と教師、子供と子供、などの対話を通じて、気づきを自覚する。
・対話で得た気づきを共有する活動を通して、さらなる気づきを得たり気づきを高めたりする。

町

町探検

自分自身

・町のイイなはどんなところかな？
・もっと町のイイなを探したい！

・グループで分かれて行きたい！
・お店の人とお話ができるかな？

・気になる場所が増えたよ！
・他にもイイなはあるのかな？

単元目標

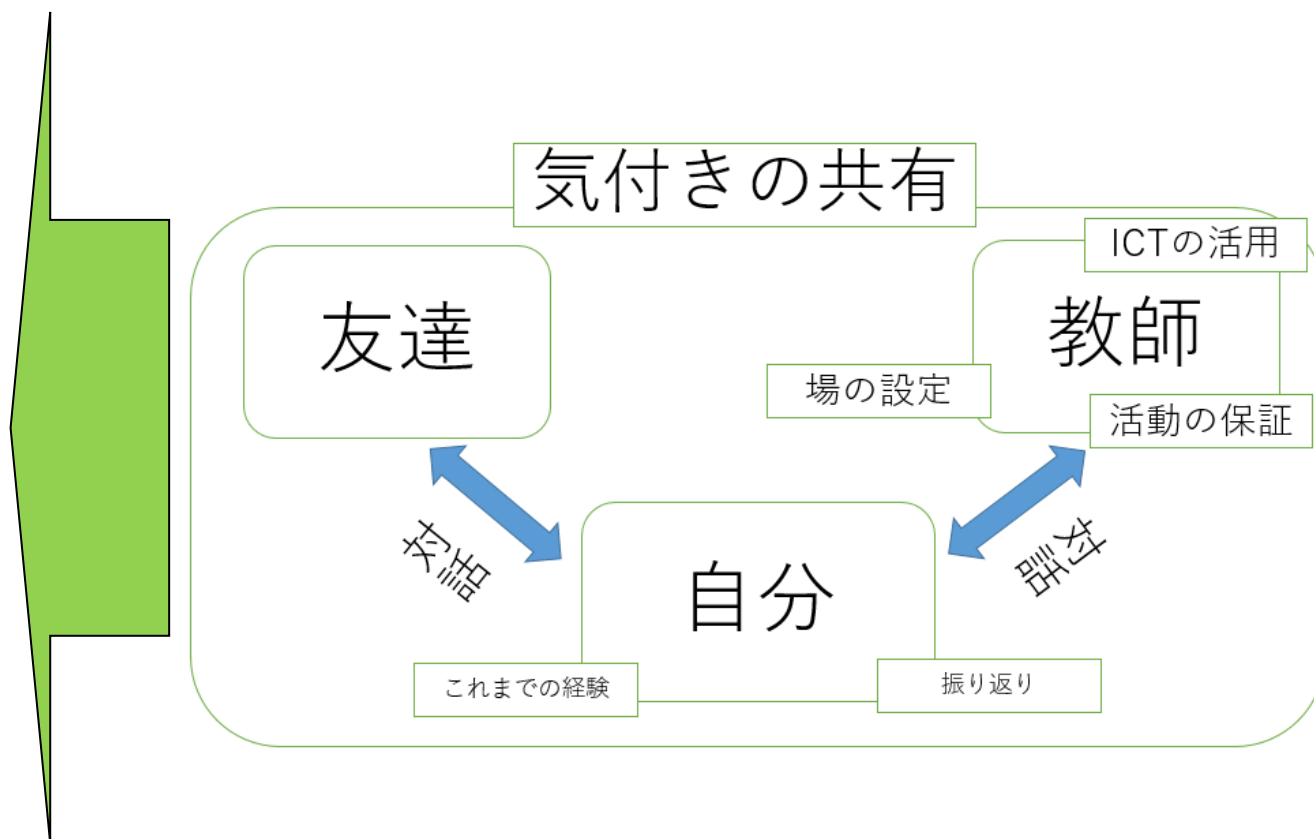
これまでの町探検で気付いたことや季節を通しての町や人々の様子、多くの人とのかかわりや交流について、まとめたり、身近な人たちと接したりする活動を通して、自分たちの町の良さに気付くことができるようにする。

本単元の学習内容を身につけた姿

知識・技能【知・技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主】
季節を通しての町の様子が分かり、町のいろいろな「よさ」「町への親しみ」に気付く、積極的に町の人と関わろうとする。	町探検で気付いた町の良さや人々と関わることの楽しさについて考え、自分なりの方法で表現したり、発表したりしている。	季節を通しての町の様子に対する関心や、町の人々や様々な場所に親しみをもってこれまでの町探検のまとめをし、振り返ろうとしている。

教師の支援

活動の保証	子供が対象と関わりについて達成感もてるように支援する例として、一人一人が十分に気付きを表出するための時間の保証とそれを伝え合う場を設定し共有できるようにする。
場の設定	子供一人一人が必要感をもって「おすすめの場所」や「お気に入りの場所」などと個の気付きを伝えたい場を意図的に設定する。

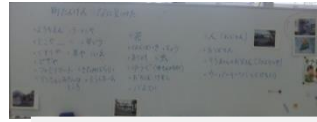


4 単元計画(1学期12時間・2学期12時間)

時	子供の学習活動(○)【自己調整】		
1	<p>「1年生の学校探検を思い出そう」</p> <p>○学校探検の写真から、その時の様子や調べ方を振り返る。</p> <p>2階や3階の教室や職員室や校長室にいったときの写真だ</p> <p>自己紹介をして、先生たちにカードを交換してもらったよ</p>		
2	<p>「町たんけんでたくさん見つけよう」</p>		
3	<p>～ジャンプ探検隊～「町たんけんで何を見つけたかな」</p>		
4	<p>○町探検で見つけたことを話し合う</p> <p>子ども110番のポスターを見つけたよ</p> <p>美容室で店員さんとお客さんが手を振ってくれた</p> <p>○もっとしりたいことや気になることをワークシートに記入し話し合う</p> <p>他の場所にも行ってみたい。</p> <p>ペコちゃんのお店は出てこなかったな</p> <p>探検しただけではわからないこともあるね</p> <p>【自己調整】 わからないことや気になっていることを解決するために次の探検に行こうとしている</p>		
5	<p>～ジャンプ探検隊～次のたんけんはどこに行こうかな</p>		
6	<p>～ジャンプ探検隊～ 小門から出発だ！</p>		
7	探検①とは違う建物	探検①と似ているものを見つけたよ	まだ行っていないところもあるのかな
8	<p>～ジャンプ探検隊～わかったことはなあに</p> <p>買い物できるところが一か所に集まっているね</p> <p>今度は地域やお店の人にインタビューしてみたいな</p>		
9	<p>～ジャンプ探検隊～ もっと行ってみたい！</p> <p>普段いかないところに行ってみたい</p> <p>店内に入ったり、人にインタビューしたりしてみたいな</p>		
10	探検①や②に見つけた建物と似ているところがあった	中に入ると建物の様子やどんなところが詳しくわかるかも	
11	<p>～ジャンプ探検隊～ 探検してわかったよ！</p> <p>まだ知らないことがたくさんあるかもしれない。</p> <p>小学校の周りにはいろいろなところがある</p> <p>人にインタビューしてみたいな。</p> <p>【自己調整】 小学校の周りにはたくさんの建物があ、そこには地域の人や働く人などがいることに気付く。</p>		
12			

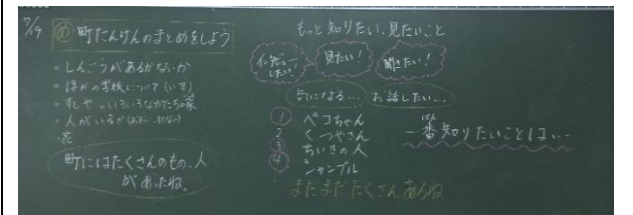
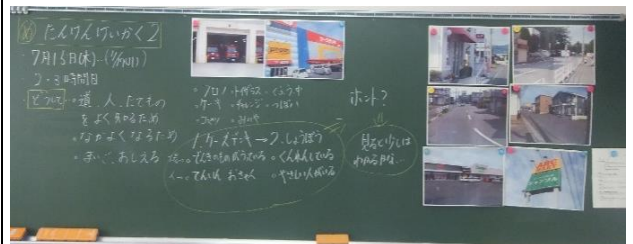
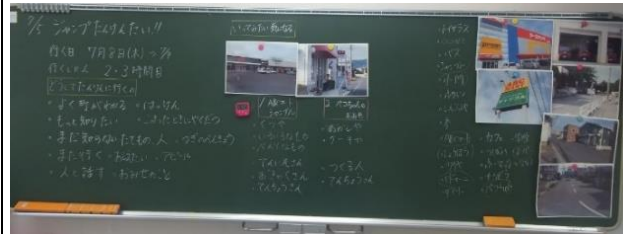
課題 一年生の時の学校探検の写真などから具体的な場面を思い出せるよう促す

学校探検の時の写真から部屋には人がいたり、物があつたりしたことに気付くように促す。



課題 気付いたことを簡単に交流し、カテゴリ化し可視化していくことでどこに焦点が当たっていたのかわかるようにする。

探検の時の気付きを整理し、今後の学習において建物・物・人と意識付けしていくことでそれぞれがつながっていることに気付かせたい。



課題 学校の周りはわかったが、もっと詳しくなるためには人に聞くことに気付かせたい。

学校の周りについてより詳しくなるために自分なりの町の良さに気付くよう促す。



～ジャンプ探検隊～ 町探検でどんなところを見つけたの？

○1学期の町探検を振り返る

でも、まだ知らないこともたくさんあるね・・・「町のイイな」を探すには、どうしたらよいだろうか。

町たんけんについてもう1回かんがえよう

○町探検の計画を立てる

学校では自分だけのイイなという場所があった。

町のことを知ることが今後の自分の生活に役立つかも・・・

新たな発見が、自分の「イイな」につながっていくかも・・・

チームで探検に行って調べてお互いに交流したいな

【自己調整】 自分の考えを書いたり、交流をしたりして学校の「イイな」のように、町の「イイな」を探検で見つけたいことを気付く。

○場所ごと探検①に行く。

行った建物には〇〇があって～さんが詳しく教えてくれた。

～には〇〇さんがいて、工夫していることがわかった。

自分のイイな、教えたいな

パフ どんな方法で、どんな内容で何を発表するのか全員に問いかける。

○発表会に向けて準備をする。

分かりやすくするには写真や動画もいれたいな

クイズにして出すとみんなが楽しく参加できそうだね

【自己調整】 小学校の周りの建物には、働く人がいろいろな思いをもっているのではないかということに気付く。

でも、一回ではわからないね・・・「もっと知る」ために、聞きたいことを整理し探検②に行こう

○チーム探検②に行く。

働いている人はたくさんの苦勞があることもわかった

地域のことを大事にしていることがわかった

みんなのイイなは、知りたいな

パフ 写真や動画を振り返ることで、それを手がかりにその時の自分のことを思い出したり、その時気付かなかった友達の良い所を発見したりできる場を設定する。

○発表会の準備をし、発表会をする。

どの班の発表でも働く人は苦勞や工夫していることがわかった

自分のおすすめの場所に家族と一緒にいきたいな

【自己調整】 町の人は働く人がいて工夫したり苦勞したりしていて、町のことを大切に思っていることに気付く。

町のイイな、自分のイイなを見つけたよ

町のことについていろいろなことわかったよ

町の人と仲良くなれたよ

町探検でできることが増えたよ

パフ 町探検を通して、「町のこと」「町の人のこと」「自分のこと」などと、様々な角度から町探検を振り返ることができるように教師から問いかける。

5 本時案 (2/12)

本時の目標

探検を振り返り、「イイな」「楽しいな」と思う場所についての考えを友達と交流することを通して、自分の探検に対する気持ちに気づき、次の探検に行こうとする。

学習活動 (○) と子供の姿

教師の支援 (☆, 謎, 統, パ) と評価 (◇), 自己調整

～ジャンプ探検隊～たんけんについて もういちど考えよう

○1学期の町探検を写真で振り返る。

課題 これまでの学習を振り返りながら、本時の課題を設定できるよう、子供の言葉を拾ったり問いかけたりする。

あの建物は町探検で
行って近くで見たよ

探検の時あんな建物
あったのかな？

家の近くにも同じ
建物があるよ

お店の名前だけではわか
らないところもあった

○学校と同じように町の「イイな」「楽しいな」と思う場所について考える。

課題 これまでの学習を振り返りながら、本時の課題を設定できるよう、子供の言葉を拾ったり問いかけたりする。

よく行くのでいいな
と思うところがある

行ったことがあるだ
けで「イイな」はない

家の近くならあるけれ
ど・・・町にはあるのかな

学校ではあったけれど
あまりない

○どうして町のことと「イイな」「楽しいな」という場所が学校と異なっているのか考える。

追究 自分の考えと比べるために、一人一人が考えを表出できるよう教師が問いかける。

何回も行ってよく知って
いるから

まだどんな場所かしらな
いから「イイな」はないか

行ったことや使ったこ
とが無いから知らない

気になることはあったけれど
覚えていないから

町の「イイな」「知りたい」「気になる」が無いのは・・・もったいない。みんなが見つけるにはどうしたら？

○建物などの「イイな」「知りたい」「気になる」について考える。

追究 「イイな」を見つけるために、探検の仕方や方法など視点について問い直す。

町のことを知ることが今後の自
分の生活に役立つかも・・・

外から見たり、名前を聞いたりしただけ
でわからないから建物の中に入りたい

新たな発見が、自分の「イイな」
につながっていくかも・・・

【自己調整】 自分の考えを書いたり、交流をしたりして学校の「イイな」のように、町の「イイな」を探検で見つけたいことを気付く。

◇ 町の良さを見つけるために探検に行こうとしている。(主, ワークシート・発言)

「イイな」「気になる」「知りたい」を町探検に行って見つけに行こう